

科目名		感性情報処理 (Kansei Information Processing)							
学 年	専 攻	単 位 数	必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第2学年	経営情報工学専攻	2 単位	選択	講義	前期 100分/週	90 時間			
担 当 教 員		【常勤】 中岡 伊織							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達目標レベル	人間がモノに対して抱く感性は近年、企業のマーケティング活動などにも利用され、注目されている分野の一つである。この感性を採取するためには、アンケートなどによる主観評価実験が必要となる。そこで本講義ではSD法、一対比較法、ラフ集合、多変量解析手法について紹介する。また、その実践的理解の為、各自が選んだテーマについて実際にアンケート実験を行い、測定したデータを用いて分析を行う。								
学習・教育目標		D①	JABEE基準1 (2)		(d)-(3)				
関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材									
関連科目	社会システム工学実験Ⅰ								
教科書	なし								
補助教材等	プリント資料								
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		40		30	30				100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】		◎		○	◎				
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】		○		○	○				
汎用的技能 【情報収集・活用・発信力】				◎					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言									
本科の講義や専攻科の社会システム工学実験などで勉強した数値情報処理技術およびデータベースやプログラミング関連など学際的な分野です。よって関連する講義の復習をしっかりとってから受講して下さい。									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。	
2	感性情報処理1	・様々な研究事例を通じて、感性情報処理がどのように応用されているのかを理解できる	予習:プリント
3	感性情報処理2	・感性情報がマーケティングに応用されている事例を通じて、商品開発における感性情報の重要性について理解できる	予習:プリント
4	感性情報処理3	・感性情報を取得するための手法であるSD法や一対比較法について理解できる	予習:プリント
5	感性情報処理4	・感性情報を分析するための手法の一つであるラフ集合理論について理解・応用できる	予習:プリント
6	感性情報処理5	・感性情報を分析するための手法の一つである因子分析法について理解・応用できる	予習:プリント
7	感性情報処理6	・感性情報を分析するための手法の一つである数量化理論について理解・応用できる	予習:プリント
8	アンケートフォーム1	・PHP言語などを用いて、人が対象に対して抱く感性情報を取得する方法について理解できる	予習:プリント
9	アンケートフォーム2	・PHP言語などを用いて、人が対象に対して抱く感性情報を取得する方法について理解できる	予習:プリント
10	データベース1	・MySQLなどを用いてアンケートによる回答を保存するための枠組みについて理解できる	予習:プリント
11	データベース2	・MySQLなどを用いてアンケートによる回答を保存するための枠組みについて理解できる	予習:プリント
12	感性のモデル化1	・アンケート実験を行い、測定されたデータを分析・モデル化するための方法について理解できる	予習:プリント
13	感性のモデル化2	・アンケート実験を行い、測定されたデータを分析・モデル化するための方法について理解できる	予習:プリント
14	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			25時間
自学自習			65 時間